

棚田の魅力が付加価値とした米のブランド化の取組を図り、所得を向上

(もとやまちょう)
【高知県本山町】

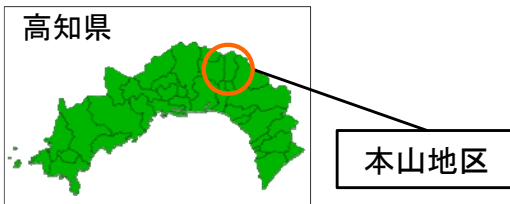
目標: 販売額の増加 整備内容: マーケティング調査等、色彩選別施設、用排水路改修(312m)、区画整理(0.4ha)、農作業道(30m)、鳥獣被害防止柵(10km)

【工夫のポイント】

- 棚田の魅力が付加価値とした高品質なブランド米の生産を推進
- 色彩選別機の導入を契機に、普通米についても価値向上を図り、新たなブランド米として展開
- 基盤整備による維持管理労力の軽減等により、地域の所得を向上

【取組地域の概要】

- 位置 (もとやまちょう)
高知県本山町
(特定農山村、振興山村、過疎)



- 主要作物
・水稲
- 主な支援施策
・中山間地域等直接支払交付金(国:H12~)

整備前

- ・ 急峻な棚田のため基盤整備が進まず、管理経費の低減が困難
- ・ 米価の低迷や農家の高齢化等により、営農の継続(棚田の維持)が課題

- ・ 棚田の魅力を活かした高品質・高食味のブランド米(「土佐天空の郷」)を確立したものの、増産のために、高い栽培技術と多くの労働力が必要であることから、栽培農家数が頭打ち

【(参考)ブランド米】

- 棚田のイメージを前面に出し、旨み成分を引き出すために室戸海洋深層水のいがりを散布する等した高品質・高食味な特別栽培米(「土佐天空の郷」)

施設整備

計画策定

基盤整備



販路拡大等の取組

- 市場調査による消費者ニーズの把握や有利販売に向けた先進地視察、販売チャンネル拡大の取組も併せて行うことで、ブランド確立の確実性を向上。



施設整備を契機とした新たなブランド米の展開

施設整備等

- 色彩選別機の導入による普通米の等級アップ、格納施設の整備による生産ラインの構築を図り、新たなブランド米の確立を推進



色彩選別機を導入するライスセンター

- ・ 新たなブランド米は、棚田のイメージを前面にしたブランドとして位置付け
- ・ 既存ブランド米の品質等の基準に合致しないものについて、新たなブランド米として価値を創出



ブランド米パッケージ



基盤整備等による農業者の営農意欲の向上

基盤整備

- 用排水路の改修、区画整理、農作業道の整備による維持管理労力の軽減を図り、棚田における生産力の向上を推進

- 電気柵を設置し鳥獣被害からの防御体制を構築



棚田での作付風景



鳥獣防止柵

新たなブランド米の確立による販売額の向上

- 色彩選別機の導入による新たな生産ラインの構築や販路拡大の取組等により、棚田の魅力を付加価値とした新たなブランド米の展開を推進
- ブランド化による米の付加価値向上、基盤整備等による維持管理労力の軽減等により、農家の所得向上を推進

